

**製品名: Abin-2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06450**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	TNIP2
別名	TNFAIP3-interacting protein 2 (A20-binding inhibitor of NF-kappa-B activation 2; ABIN-2; Fetal liver LKB1-interacting protein)
遺伝子 ID	79155.0
SwissProt ID	Q8NFZ5
免疫原	アミノ酸配列範囲 61-110 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

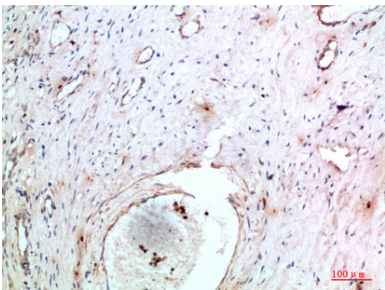
この遺伝子は、NF- $\kappa$ B の活性化を阻害するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、特定の細胞種における MAP/ERK シ

グナル伝達経路にも関与しています。また、内皮細胞のアポトーシスにも関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。この遺伝子に関連する擬似遺伝子は X 染色体上に位置しています。[RefSeq 提供、2014 年 5 月]、機能: RIPK1 とその下流エフェクター IKBKG との相互作用を阻害することにより、NF- $\kappa$ B の活性化を阻害します。NF $\kappa$ B1 および MAP3K8 と三元複合体を形成するが、MAP3K8 の活性化を制御する TLR4 シグナル伝達経路において MAP3K8 の上流で機能すると思われる。サブユニット:STK11、TNFAIP3、IKBKG、NF $\kappa$ B1、MAP3K8、および RIPK1 と相互作用する。組織特異性:検査したすべての組織で普遍的に発現する。、

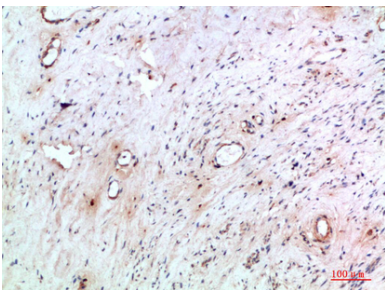
## 研究分野

-

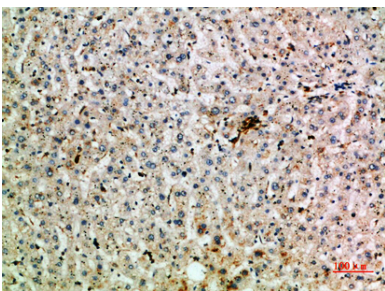
## 画像データ



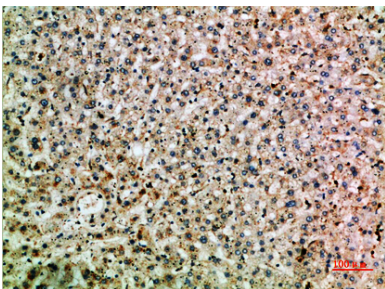
パラフィン包埋ヒト子宮頸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト子宮頸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された

